



【ジブ・コーレン】

1992年よりイスラエルの軍隊でカメラマンとしてのキャリアをスタート、後にイェディオット・アハロノット新聞で編集委員会に加入り写真家兼フォトエディターを努める。1994年から2002年までフランスのフォトエージェンシー「シグマ」「ガンマ」に所属。2003年からは「ポラリス・イメージズ」に所属。1995年に撮影された、爆破されたイスラエルのバスの写真が、2000年に「ワールド・プレス・フォト・オーガニゼーション」の“過去45年の中で最も重要な写真200”の中に選ばれた。

■ 6/13(金) ジブ・コーレンによる報道写真ワークショップ

時間 14:00 ~ 15:30 料金 1000円 (写真展入場料含む)

※要予約/先着40名様 予約締切: 6/11(水)

写真展開催と映画公開を記念してジブ・コーレンが来日します。この機会にワークショップを開き、報道写真家を志す方、フォトジャーナリズムに関心を持つ方々へ向けたレクチャーを行います。彼自身の写真を教材に、プロとして現場から何をどう伝えるのかを考えます。

《ご予約》上記イベントのタイトルを件名とし、指定のアドレスまでメールにてお申し込み下さい。

【予約要項】 ① 名前 ② 予約人数 ③ 電話番号 ④ 住所

【予約先】メールアドレス: film@uplink.co.jp



映画

1000の言葉よりも 報道写真家 ジブ・コーレン

イスラエル人としてパレスチナ問題を掘り続け、危険を顧みず現実を伝えようとする報道写真家ジブ・コーレンに迫るドキュメンタリー

監督: ソロ・アヴィタル / 出演: ジブ・コーレン他
配給・宣伝: アップリンク 協力: 社団法人日本写真家協会、社団法人日本写真協会

□ 東京都写真美術館ホール
6/14(土)~7/11(金) 13:00/17:20/19:20
月曜休映 (6/16、23、30・7/7、14)

*公開初日6/14(土) 17:20の回上映後、
ジブ・コーレンと外山俊樹氏(「アエラ」フォトエディター)によるトークショーあり!

【同時開催】
「世界報道映画特集 ジャーナリストたちが記録した、その瞬間
—パレスチナ、イスラエル、イラク、チベット、ビルマ、そして—」

<上映作品>
「パレスチナ1948 NAKBA」|「MAGNUM PHOTO マグナム・フォト 世界を変える写真家たち」|「ガーダ パレスチナの詩」|「レインボー」|「シャティール キャンプの子供たち」|「夢と恐怖のはざままで」|「プロミス」|「パラダイス・ナウ」|「アフガン零年」|「チベット難民~世代を超えた闘い」|「イラク・ヤシの影で」|「ファイナル・ソリューション」|「S21クメール・ルージュの虐殺者たち」|「ビルマ、バゴダの影で」|「余震」

□ アップリンク・ファクトリー 6/16(月)、6/23(月)、6/30(月) 15:30
□ アップリンクX 7/12(土)~上映時間はアップリンクXへお問い合わせください。

「1000の言葉よりも 報道写真家ジブ・コーレン」オフィシャルHP
www.uplink.co.jp/1000words/

お問合せ: アップリンク 03-6821-6821



BankART 1929 Yokohama



会場: BankART 1929 Yokohama
横浜市中区本町6-50-1 TEL: 045-663-2812
横浜みなとみらい線「馬車道駅」1b出口[野毛・桜木町口(アイランドタワー連絡口)]
JR・市営地下鉄「桜木町駅」徒歩5分 JR・市営地下鉄「関内駅」徒歩7分